

標記会社ニ於ケル労働争議ニ関シテハ屢報ノ外其後ノ
至過左記ノ通りニ有之

記

一 會社側ノ状況

労働者側ニ於テ連日執拗ニ会社幹部ノ自宅訪問ヲ行
ヒ居ル件ニ関シ会社側ニ於テハ四月四日社長加藤梅
吉、重役三輪政治郎、谷々木宗勝、上山武吉等本社
ニ集合シ之ガ対策協議ヲナセル結果職工ノ訪問ニ対
スル会社幹部ノ自宅引元ハ今後ノ解決ニ粗詰ヲ来ス
度アリトシ之ヲ回避スル様々ニ申合セ会社側ノ策
対策ハ目下旅行中ノ標榜事務ノ暇社ヲ待テ後議スル
意嚮ナルモ一徹重役連ノ態度ハ依然強硬ナリ

二 労働者側ノ状況

労働者側ニ於テハ会社側ノ態度強硬ナル爲メ解決ノ
曙光ヲモ見出セサル状況ニ焦慮シ加藤社長外会社幹
部ノ自宅ヲ連日訪問シ局面打開策ニ奮心シ居ルモ何
等具体的解決策ノ端緒ヲ發見スルニ至ラズ空シク
同様ノ行動ヲ反覆シ居ルノ状況ニアリ、尙本争議ニ
関シテ賢明ナル全市町民ニ訴フレト題スル別記印刷
物ヲ会社重役ノ居宅附近ノ民家及關係方面ニ配布シ
テ、アリシガ本月三日銀座三丁目松屋吳服店六階ヲ
リ同一印刷物ヲ約百枚中央ホールニモ亦撒布セル事
実アリ

三 警察取締